# NIFS-AP News vol. 2

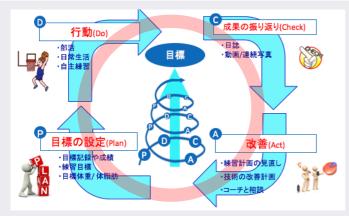
~ 鹿屋体育大での成長を可視化する

- p.1 PDCAサイクル
- p.2 卒業までに身につけるべき 12の資質・能力
- p.3 学修ポートフォリオ
- p.4 学生の主体性

## あっという間の大学生活・・充実したものにするには?

夏休みが終わり後期がスタートしました。時間があっという間に過ぎてしまった・・という人も多いのではないでしょうか。ところで、大学に入学した目的や目標を忘れていませんか。改めて思い出したり、再設定するためにも、これまでの大学生活を振り返り、現状を把握し、残りの時間をどのように過ごし、どのように成長したいのか、考えてみましょう。また、目標を立て(Plan)、行動し(Do)、振り返り(Check)、改善していく(Act)、PDCAサイクルを回せているかも、自分自身で振り返ってみましょう。今後、本学では、学生の皆さんが大学生活をより充実させ、成長していることを確認できる仕組みを作り、サポートを行っていきます。Vol.2では、来年度から始まる予定の学修成果の可視化について紹介していきます。

## 実は体育大生は得意!? PDCAサイクルの回し方

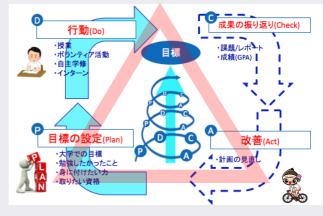


部活動のPDCAサイクル

左の図を覚えているでしょうか。Vol.1で出てきたPDCAサイクルの図です。今回は、部活動に合わせて内容を変更しています。多くの皆さんは日々、目標(Plan)に向かってトレーニングを行い(Do)、動画で動きを確認したり、日誌を書いたりしながら(Check)、技術の修正や、トレーニング内容の再考(Act)をしていると思います。まさに部活動で行なっているサイクルがPDCAサイクルであり、社会に出てからも非常に重要な取り組みです。PDCAサイクルを円滑、継続的に回せることは体育大生の強みとなります。

しかし・・日々の学修(※)においてはPDCAサイクルを回せているでしょうか。特に授業で、学修の振り返り(Check)や改善(Act)をするところで何を行なっていいか、困っていませんか。そこで大学では、学生の皆さんが現在どれだけ授業を通して力をつけているかを簡単に確認(Check)できる仕組み、「学修成果の可視化」を行います。具体的には次のページで説明していきます。

※学修とは・・学問(知識や技能)を自ら進んで身につけることです。ちなみに「学習」は、学問(知識や技能)を習うという意味です。大学での学びは、「学修」であるとされています。(文科省.2012)



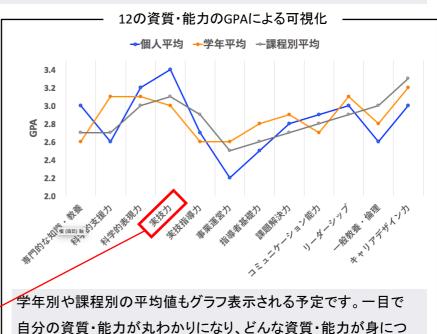
学修(主に授業)のPDCAサイクル

# 一目でわかる!? 大学で身につけた資質・能力の可視化

これまでの成績通知書では、科目群毎にGPAが見れるようになっていましたが、来年度から卒業時までに身につけるべき12の資質・能力別にもGPAが表示されるようになります(予定)。授業を通して身につけた資質や能力が明らかになり、何が身についていて何が足りないのか一目で判断できるようになり、振り返り(Check)が簡単にできるようになります。これに加えて汎用的能力や実践的スポーツ指導力も可視化していきます。



DPで目指す資質・能力



いたか、振り返りを簡単に行うことができます。

解説

## 卒業までに身につけるべき12の資質・能力の定義

	いて日間り貝貝・肥力	77+070
	専門的な知識・教養	スポーツ等の指導者やリーダーに求められる基礎的・応用的な知識ならびに幅広い教養のこと。
$\bigcirc$	科学的支援力	アスリートへの科学的サポート、生涯スポーツにおける健康科学的サポートを行うことができる仮説・企画力、 実験・調査力、分析・考察力、説明力を総合した資質・能力のこと。
	科学的表現力	スポーツ等の専門的な知識・教養を総合的に活用し、論理的にレポート・論文等を作成できるとともに、他者に伝わるように表現できる資質・能力のこと。
<b>③</b>	実技力	スポーツ、武道、健康づくりの運動等を自ら学び、その習得・改善過程を理解しながら目指すパフォーマンスを 達成することができる(模範できる、身体表現できる)資質・能力のこと。
	実技指導力	スポーツ等の指導を行うことが出来る示範カ、評価カ、処方カ、コーチングカ等を総合した資質・能力のこと。
	事業運営力	市民の健康・体力づくり等をコーディネイトし、スポーツクラブ等の事業運営やプログラム開発を行うことができるプログラム等開発力、プログラム等運営力、事業コーディネイトカ、組織・施設マネジメント力を総合した資質・能力のこと。
	指導者基礎力	指導をする相手(プレーヤー)の意思を尊重しながらも、プレーヤーの人間性・関係性・有能さ・自信を育てる指導をするための基礎的な資質・能力のこと。
Q	課題解決力	本質的な問題を発見し、解決策を考え、計画し、それを実行、成果がでるまでPDCA サイクルを円滑に回し、 課題解決に向けた取り組みを実施できる資質・能力のこと。
	コミュニケーションカ	「一方的に意思を伝達する」だけでなく、異なる意見や感覚を持つ人々と交わり、耳を傾け、柔軟に自らの意見を変容させる「対話をする」の資質・能力のこと。また、英語でのコミュニケーションカも含む。
-	リーダーシップ	集団に何らかの目標を設定し、集団を統率しつつ、人々の意欲を高め、成長させながら、その課題を遂行・ 先導する資質・能力のこと。
****	一般教養・倫理	社会で必要とされ、身につけていることが望ましい基本的な知識や物事の良し悪しを判断し、人として守るべき秩序を守れる資質・能力のこと。
	キャリアデザインカ	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関係を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく資質・能力のこと。

卒業までに身につけるべき12の資質・能力の具体的な定義を確認しておいてください。これらの資質・能力を身につけることで、鹿屋体育大学が目指す「スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー」となることができるはずです。授業を受ける際にも、「今は何を身につけているのか」を意識するようにしてください。

## 学修ポートフォリオ:成長の振り返りと展望

#### 1年前期 GPAによる学修成果の振り返り

1年次の目標: 授業料免除のために全ての科目でAを取れるようにする。

DPで目指す資質・能力		項目別GPA		
DPで目指り買具・能力	個人平均	学年平均	課程別平均	
専門的な知識・教養	3.0	2.6	2.7	
科学的支援力	2.6	3.1	2.7	
科学的表現力	3.2	3.1	3.0	
実技力	3.4	3.0	3.1	
実技指導力	2.7	2.6	2.9	
事業運営力	2.2	2.6	2.5	
指導者基礎力	2.5	2.8	2.6	
課題解決力	2.8	2.9	2.7	
コミュニケーション能力	2.9	2.7	2.8	
リーダーシップ	3.0	3.1	2.9	
一般教養・倫理	2.6	2.8	3.0	
キャリアデザインカ	3.0	3.2	3.3	



反省・振り返り

大学に入って初めての成績であまりいいのかわからないが、全部単位を取れて良かった。能力別では、事業運営力と一般教養・倫理が平均よりも低いとなっているので、後期は実技や各講義科目を頑張ろうと思った。実技は引き続き 色々な競技のスキルを身に付けたい。あっという間の前期だったので、後期は普段の授業から予習と復習をする習慣 をつけたいと思う。部活だけでなく文武両道4年間やり遂げたい。

後期の課題・改善点

暗記が苦手で特に講義科目でのGPAがあまり高いものではなかったので、全体的に点数を上げる。できれば成績優秀者となって学費免除も受けたいので、その他の授業も高いGPAを取れるように普段から予習・復習をしていく。後期は興味のある授業が多いので、できるだけ前の席に座って、集中して話を聞き、自分の能力を上げていく。将来、教員になりたいので、実技では苦手な種目(水泳・球技)を自分自身も指導もできるようになりたい。

来年度からは、学修成果と振り返り及び展望を記録し、成長の足跡や展望を確認する取り組み(学修ポートフォリオ)を実施する予定です。ポートフォリオとは、紙挟みなど、記録や資料を貯めていけるもののことを指しています。 学修ポートフォリオを作成することで、大学で何を学び、どのように成長しているのか、確認することができます。 具体的には、年間の目標、半期の目標を立ててもらい、半期ごとに学修の成果(成績)を見て、振り返りを行ってもらいます。学修の成果(成績)も見やすくなるため(p.2上段参照)、振り返りも行いやすくなると思います。学修の他にも課外活動(部活動やボランティア等)での学びも可視化できるポートフォリオも現在検討しています。

# 授業以外でどう学んでいますか?



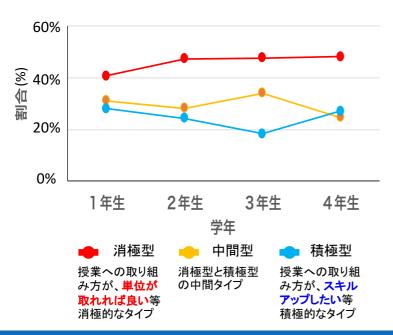




本年度当初に実施した「時間外学修時間に関するアンケート」の集計結果を報告します。ご協力いただき、 ありがとうございました。

昨年度と比較すると、「正課授業」に対する時間外学修時間は、平均すると少し上昇しています(4.3→4.5h/週)。特に試験期間以外にも学修時間が増えています。しかし、依然として休業期間の学修時間が少ない状況です。「課外活動」に対する時間外学修時間も昨年度と比較すると上昇(3.0→4.0h/週)していますが、これは今年度の調査から就職活動に関わる学修も含めることに変更したことが影響していると考えられます。なお、大阪大学では10時間/週が平均となっています。

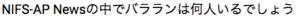
## 授業への取り組み方:2年生・3年生が鍵!?

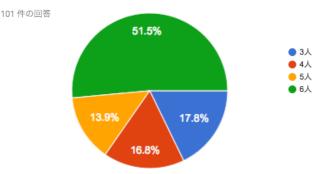


左の図は、本年度始めに時間外学修時間のアンケートと同時に実施した「授業への取り組み方に関するアンケート」の結果をまとめたものになります。結果は、授業への取り組み方が「消極的な学生が全体的に多い」結果となりました。また、授業に積極的な学生も2年・3年と学年が上がるにつれて、全体の割合が減り、4年生で増えるという結果になりました。2年・3年と学年が上がるにつれて大学生活に慣れて、授業に対する姿勢が怠惰なものになっている可能性が考えられます。皆さんはどうでしょうか。4年生で再び積極的な学生が増えるのは、卒論や就職活動が始まるからだと考えられます。1~3年生は、自身の授業に対する取り組み方がどんどん消極的になっていないか、以前と比べて見てください。

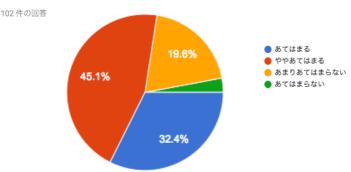
### アンケートの結果とお願い

前回のVol.1を読んでいただき、アンケートに答えてくれた学生の皆さんありがとうございました。8割近い学生の皆さんに読んでいただき、現在行われている大学の教育改革について興味を持ってもらえたようです。バラランの数の正解は6人です。約半数の人が正解という結果でした。今回のVol.2でもバラランが何人いるか探してみてください。今回と前回の両方のアンケートに答えてくれた(バラランの数も正解している)学生の中から抽選でクオカード(500円分)をプレゼントいたします。適当に回答するとわかりますので、しっかりとアンケートに答えるようにしてください。少しでも大学の教育改革に興味を持ってもらえると幸いです。また、大学の教育改革についてもっと知りたい、携わりたいという学生の方がいましたら是非、教育企画・評価室まで足を運んでください。

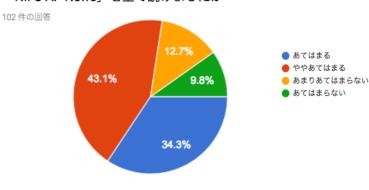




大学の教育改革について興味を持つことができた



「NIFS-AP News」を全て読みましたか





#### く発行>

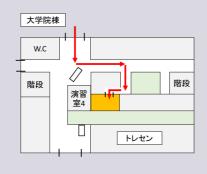
#### 鹿屋体育大学 教育企画 • 評価室

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 大学院棟1階

TEL&FAX: 0994-46-5082 E-MAIL: kyoumu-ap@nifs-k.ac.jp

<企画・編集>

濱中 良・近藤亮介・岡田あゆみ・金高宏文



教育企画・評価室のHPも更新されている のでご覧ください



http://ap.nifs-k.ac.jp